

ヤングケアラーの支援とは

～ソーシャルワークからの気づきと支援～

家庭内のお世話や介護を日常的に担っている子どもたち「ヤングケアラー」は20人に1人とされています。

しかし、その多くは負担が大きくなっても自身からSOSを発することが難しい子どもたちです。

学校・医療・介護・障害・地域などの現場では、これまでヤングケアラーの存在を十分に把握することができなかったといわれています。なぜでしょうか？

今、ヤングケアラーという存在に気がついた人たちから支援が始まりました。ヤングケアラーを支援するためには何が必要でしょうか？ソーシャルワークの現場から見えてきた課題を考えます。

2021年11月13日

13:30～16:50

(受付13:00～)

オンライン開催

土

■内容

◇基調講演「ヤングケアラーの実情と課題」

講師 濱島 淑恵 氏 (大阪歯科大学医療保健学部教授)

家族介護者が抱える生活困難と支援に関する研究に取り組んできた。近年はヤングケアラーに関する実態調査に取り組むほか、2020年にはヤングケアラーたちの集い「ふうせんの会」を有志とともに立ち上げた。2020年度、国が実施したヤングケアラーに関する全国調査の研究班メンバーを務めた。2021年度は大阪市ヤングケアラーPTメンバーを務めている。2021年9月10日に「子ども介護者—ヤングケアラーの現実と社会の壁—」(角川新書)を出版。



◇シンポジウム「ヤングケアラーの支援とは」

シンポジスト 佐藤 夏海 氏 (元ヤングケアラー当事者、京都西山高等学校 養護教諭)

山本 康子 氏 (尼崎市こども青少年課 CSW 社会福祉士)

岡本 和久 氏 (神戸市福祉局こども・若者ケアラー支援担当課長 社会福祉士)

■会場 Zoom ミーティングによるオンライン開催

■定員 150名 (先着順)

■参加費 1,000円/主催5団体会員 2,000円/一般

※主催5団体=兵庫県社会福祉士会、兵庫県介護福祉士会、兵庫県精神保健福祉士協会、兵庫県介護支援専門員協会、兵庫県医療ソーシャルワーカー協会

■申し込み

10月29日(金)までに、下記URLまたはQRコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/RhnQo2r9YWcLWov4A>



お申し込みいただいたアドレスに受講決定通知書をメールにて送付しますので、参加費のお振込みをお願いします。その後、本研修を受講できる案内メールをお送りします。

■当日連絡先 兵庫県社会福祉士会 078-265-1330